

授業科目	カウンセリング論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	杉本 有紗										
授業概要	<p>実務家教員として、本講義ではカウンセリングの基本的な知識について解説する。</p> <p>カウンセリングでは、セラピストとの関係性に支えられたプロセスの所産として、クライアントの自己理解と問題解決にかかわり、その過程を援助することができる。本講義担当者は、学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員である。教育や福祉の臨床場面で必要とされるカウンセリングとは何か、カウンセリングの構造とそのプロセスについて解説する。</p>										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンセリングの基本構造について説明できる。</li> <li>2. カウンセリングの段階とプロセスについて説明できる。</li> <li>3. クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について説明できる。</li> </ol>										
理想的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンセリングの基本的知識をよく理解し、カウンセラーとクライアントの特別な関係について他者に説明することができる。</li> <li>2. カウンセラーの立場、クライアントの立場を理解し、それぞれがカウンセリングで直面する課題について他者に説明することができる。</li> <li>3. 日常場面において、カウンセリングの技術を応用することができる。</li> </ol>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	100%				小レポート、最終レポート						
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリン グ	WE21412J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
<p>課題図書を講読し、内容を要約する。内容についての考察を文章にまとめる。</p> <p>授業で配布された資料を読み直し、振り返る。</p>										4	
授業計画											
第1回	<p>テーマ： オリエンテーション・カウンセリングとは</p> <p>カウンセリングとは何か、クライアントとカウンセラーについて解説する。</p>										
第2回	<p>テーマ： カウンセリングの構造</p> <p>カウンセリングの構造、面接の契約について解説する。</p>										

第3回	テーマ：カウンセリングにおけるクライアント カウンセリングにおけるクライアントの活動のプロセスについて解説する。
第4回	テーマ：カウンセリングにおけるカウンセラー カウンセリングにおけるカウンセラーの活動のプロセスについて解説する。
第5回	テーマ：関係調整と自己開示の段階1 カウンセリングに来るまでのクライアントの心理と、インテーク・初回面接での対応について解説する。
第6回	テーマ：関係調整と自己開示の段階2 カウンセリング開始後のクライアントの心理とカウンセラーに必要な能力について解説する。
第7回	テーマ：自己定位と自己探索の段階1 カウンセラーとの関係ができてきた段階でのクライアントの心理と、基本的共感、プローブとプロンプトについて解説する。
第8回	テーマ：自己定位と自己探索の段階2 焦点化、問題の探索と明確化、要約、この段階でのカウンセラーの心得について解説する。
第9回	テーマ：カウンセリングにおけるアセスメント アセスメントの視点、理論的枠組み、注意したいことについて解説する。
第10回	テーマ：自己直面化の段階 自己理解の促進の難しさ、支援方法、この段階で気をつけるべきことについて解説する。
第11回	テーマ：目標設定と行動調整の段階 目標設定のための援助、実行計画作成のための援助、スケジュール作成のための援助、実行のための援助について解説する。
第12回	テーマ：カウンセリングの終結の段階 いろいろな終結の形態、カウンセリング過程の点検、事例研究について解説する。
第13回	テーマ：カウンセリングの実際1 子ども臨床のカウンセリングについて解説する。
第14回	テーマ：カウンセリングの実際2 カウンセリングの工夫について解説する。
第15回	テーマ：まとめ これまでの内容を振り返る。
テキスト	「ファーストステップ 心理的援助」李敏子著 創元社（2011）
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	『カウンセリングプロセスハンドブック』 福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房（2004） 『新しいカウンセリングの技法—カウンセリングのプロセスと具体的な進め方』 諸富祥彦著 誠信書房（2014） 『身近な人のよき理解者・助言者となるために 相談の心理学』 福島脩美著 金子書房（2011） その他、適宜紹介します。
課題に対するフィ	小レポートを返却する。

<p>ードバツ クの方法</p>	
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>『臨床心理学概論』を受講していることが望ましい。 講義中に提示された参考図書、カウンセリングに関する文献を読むことが望ましい。 『カウンセリング演習』（4年後期）を履修したい者は、『カウンセリング論』の単位を習得しておくこと。</p>